

アチック写真資料目録

——本目録について——

Catalog of the Attic Photographs

About the Main Catalog

小林 光一郎

KOBAYASHI Koichiro

1. アチック写真と資料番号付けについて

神奈川県日本常民文化研究所が所蔵する写真資料における「アチック写真」は、台紙を綴じたパテントレザー製または布張・紙製のアルバム 120 冊（1～122 番まで。うち 17 と 121 は欠番、51 番はアルバムのみで写真無し）、ネガフィルム、ガラス乾板、また河岡武春氏がアチックミュージアムの活動を回顧するために各アルバムから抜き出した写真（後述）など、合計 8,000～9,000 点の写真資料である。

これら「アチック写真」は、現存する状態から鑑みて、アチックミュージアム及び財団法人時代、または神奈川県招致以降の初期に、何らかの整理がされていた可能性がある。しかし、現在、その当時の整理基準（番号付けや封筒詰め等に伴う整理基準）や整理の際の諸情報などがまったく残っていない。そのため、これら過去の整理時のものと考えられる追加情報も含めた整理を行い、保管されていた状態からの再整理を行っている。

尚、資料整理の対象は、紙焼き写真（プリント紙印刷）やネガフィルム、ガラス乾板等のカメラによる撮影で作成された資料が基本となる。しかし、それら資料とともに一括され収納されていたスケッチやメモ、紙焼き写真のコピー、また外装に用いられた封筒などカメラ撮影で作成された資料以外の資料（主に写真類としてカテゴリー付け）も目録化・デジタル撮影作業等を行っている。

アチック写真は資料整理前の収蔵状態から 3 つのカテゴリーとして分けられる。カテゴリーはそれぞれ、①アルバム、②写真類（アルバム以外の形態の写真、バラの状態の紙焼き写真や写真用封筒にまとめられた紙焼き写真、ネガ袋にまとめられたネガフィルム、ガラス乾板、スケッチ、メモ、紙焼き写真のコピーなど）、③河岡（財団法人日本常民文化研究所の運営を実質的に担っていた河岡武春氏によって別置されていた写真資料）と大きく 3 つに分けられ、②の写真類は更に写真類 1～4 として細分類をした。

①のアルバム（写真 1）は形態として、表紙（裏表紙）、見返し・とびら（ほとんどが黒台紙）、

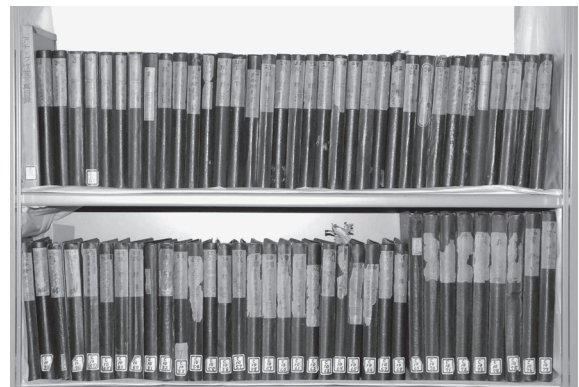


写真 1 配架されたアルバム
（資料保存処理をした後、別置済み）

遊び紙（青台紙・罫線台紙など）、中表紙（罫線台紙など）、写真資料が貼られている罫線台紙に分けられるが、当該アルバム資料の情報が付記されている見返しや遊び紙、中表紙なども資料番号付与の対象となっている。

尚、番号付与の方法については後述する。

2. アチック写真資料目録について

アチック写真を目録化する際に、段階に応じた作業を行っている。はじめに、これら資料群の大まかな内容を取り、そのインデックスを作成する作業（粗目録化作業）。次に、資料における記載事項や資料自体の大きさといった物理的な情報を集約する作業（仮目録化作業）。仮目録を基に関連した報告書や研究論文、文献資料、他機関所蔵資料などから詳細な情報を付加し題名を付ける作業（本目録化作業）の三つの作業である。以下にそれぞれの目録の内容説明をあげる。

粗目録……写真資料全体に於けるアルバム、写真類、河岡のカテゴリーの内容を要約した目録。写真資料全体のインデックス的な意味を持つ。カテゴリーごとの内容や点数などが概観できる。

仮目録……写真資料1点ずつの大きさや、貼られている台紙に記載された文字情報・物質情報などの目録。

本目録……仮目録であげた資料1点につき、撮影場所や日時、その写真が掲載されている刊行物やその他の媒体、あるいは同資料を保管している他機関での情報等、詳細な調査による情報などの目録。

尚、これら各目録については「アチックミュージアムにおける写真資料」ウェブサイトにて閲覧、ダウンロードできる（<http://atticblog.jominken.kanagawa-u.ac.jp/>）。

また、資料Ⅰの「アチック写真本目録 2013 年度増補版（昭和9年薩南十島調査関連）」（以下、本目録増補版）においては「本目録」の記載が基本になっている。

3. 本目録の項目説明（本目録増補版掲載部分と対応した部分）

本目録では以下の項目によって目録化作業を行っている。

目録番号／アルバム背表紙／都道府県／関連目録番号／外装記載／題名／台紙記載／台紙情報詳細／台紙法量／写真資料記載／写真資料法量／外装法量／備考／引用・使用媒体／他研究機関所蔵資料情報／撮影者／撮影年月日／撮影地域／付箋

本目録増補版では、これらの項目をすべて掲載することは不可能なため、写真資料の内容に関わりの深い「目録番号」「関連目録番号」「題名」「台紙記載」「台紙法量」「写真資料記載」「写真資料法量」「備考」「引用・使用媒体」「撮影者」「撮影年月日」「撮影地域」の各項目を抽出して記載した。

以下にこれら抽出した項目についての説明をする。尚、本目録増補版への記載にあたっては一部を読みかえ、または、統合を行ったが、その説明については資料Ⅰの「アチック写真本目録 2013 年度増補版（昭和9年薩南十島調査関連）」の凡例に改めて記載する。

「目録番号」とは、いわゆる資料番号のことである。番号は取り出し順に「A—B—C」のように階層化して付与し、必要に応じて枝番号をつけている。ただしアルバムにおける番号は、現在確認できる、アルバム作成時あるいは前整理時に付されたと思われる背表紙にある番号（黒マジック書き）を基に付与している（写真 2）。例えば目録番号が「ア-10-15」であれば、その資料は背表紙に 10 と書かれたアルバム（ア-10）の 15 番目の頁にあった資料であり、「写 3-4-8」であれば、写真類 3 の箱から 4 番目に取り出した封筒に入っていた 8 件目の資料である、ということになる。

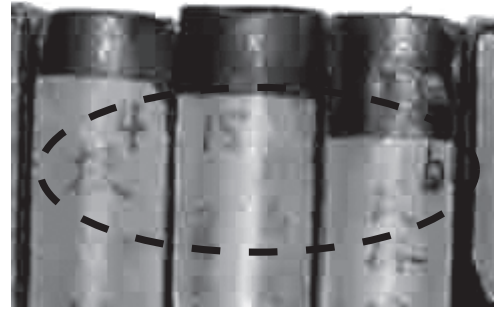


写真 2 背表紙に付けられた番号
（黒マジック書き）

「関連目録番号」とは、当該本目録内で、焼き増しや二度撮りなど被写体や像が全く同じ写真資料や、同被写体を別角度で撮影した写真資料など、関連する資料番号のことである。

「題名」とは、写真資料に付けた題名で、本目録化作業で『アチックミュージアム彙報』や『アチックミュージアムノート』、刊行雑誌・書籍等の文献資料などから追跡調査を行った上で付けられた題名である。尚、追跡調査を行いきれなかった資料に対しては一般に通用すると考えられる名称を基に付けている。また、アルバムでは、黒台紙や青台紙、中表紙などアルバムを構成する台紙、写真類・河岡では封筒や包紙など、題名として適宜共通の名前を付けている場合がある。

「台紙記載」とは、写真資料が貼付された台紙に記載された情報で、改行なども活かして原文のままを記載している（写真 3）。また、ナンバリングや記載されていた情報の後ろに丸括弧書きで鉛筆や赤鉛筆など、どのような手段で記載されているかを記している（ここが無記入のものは黒のペン、またはボールペン）。

「台紙法量」とは、写真資料が貼付されている台紙の法量（タテ×ヨコの順に mm 表記）である。

「写真資料記載」とは、写真裏面に書かれた文字情報や写真表面自体に書き込まれた文字情報などで、原文のままを記載している（本目録増補版では台紙記載と合わせて「資料記載」としている）。

「写真資料法量」とは、紙焼き写真やネガカットフィルム、ガラス乾板の法量（タテ×ヨコの順に mm 表記）である（本目録増補版では「資料法量」としている）。

「備考」は各項目の周辺情報や推定した典拠などの諸情報である（本目録増補版では「本目録備考」としている）。

「引用・使用媒体」とは、当該写真資料が掲載されている刊行物や動画媒体などの引用・使用に関わる情報である。

「撮影者」「撮影年月日」「撮影地域」は、いずれも当該資料に記載されている情報、または本目録化作業によって判明した、撮影者名、撮影年月日、撮影地域である（「撮影地域」については本目録増補版では「撮影場所」としている）。

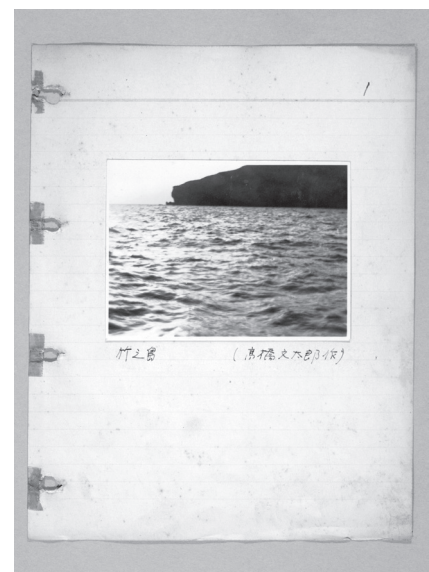


写真 3 台紙に貼られた写真例（ア-9-2）